

町史編さんだより

第13回

『風光明媚な奥渡地区』

～『じげの宝』シリーズ vol. 4～

『町史編さんだより』の13回目は、政治・行政・教育小委員会が、地域の特徴や活動、行事、祭り、昔話、自慢などを聞き取り、紹介する『じげの宝』をお送りします。



▲文化祭を開くなど、文化活動が盛ん

公民館を核に活発に活動
奥渡地区には、別所・小原・榎市の3集落が点在しています。中国山地にそびえる笠岩の北側山間に位置し、昭和50年代に圃場が整備されるまでは、棚田が広がる素晴らしい山村の景観が見られました。昭和34年当時は59戸・357人で、農業（稲作）を中心に畜産（和牛）、林業（炭焼き）で生計が立てられ、3世代が暮らしていました。



▲一時夏祭りも復活

よって催され、高見青年団も結成、その活躍は、目を見張るものがあつたとのこと。その後、学校は取り壊されて昭和54年に奥渡公民館が新築されました。村づくりの精神は子や孫に受け継がれ、公民館を核として、サツキ観賞会、文化祭、夏祭り、健康づくり教室、ちぎり絵教室などコミュニティ活動が活発に行われました。また、婦人会も結成され料理教室で腕を磨き、一人暮らしの高齢者への給食サービスにも取り組み、文化、生活の向上に貢献しました。

映画「八つ墓村」ロケ地で全国に脚光を浴びる

昭和49年に奥渡地区の上部を通る国道180号が開通し、人の往来が容易になり、思わぬ朗報が日野町・奥渡に舞い込んできました。それは、かねてから松竹映画社が全国各地で撮影中の横溝正史原作の「八つ墓村」ロケ地の一つに選ばれたことです。この映画監督の野村芳太郎氏は、「八つ墓村のイメージに合う所を全国各地探し回ったが、困り果てていたところ岡山方面から国道180号を通り山陰へ。トンネルを抜け高台から眼下を見下ろすと、遠くに大山が展望でき、ここ（奥渡）が映画のイメージにピッタリでロケ地に決めたと話しています。



▲ロケ地に見物人が押し寄せる

奥渡地区でのロケは、昭和51年から52年にかけて行われました。撮影用の大きな田治見家のセットや八つ墓明神も造られ、出演者も渥美清、萩原健一、小川真由美、中野良子、山崎努、夏八木勲などそうそうたるメンバーが来町するとあって、ロケを見ようと連日観客が押し寄せ、田治見家炎上シーンの撮影時には全国から5千人もの人が、「八つ墓村」ライターを巻き起こし、「八つ墓村のたたりじゃー」が流行語にもなりました。地元の人でもエキストラで6人ほどが出演し、俳優に家の提供、また、売店では飲み物や地元で採れた野菜、八つ墓饅頭なども販売されて、一日に30万円もの売り上げがあつたとか。町道の交通規制もあり、仕入れに苦労したと当時を振り返る人もいました。

それから40年経った現在（平成27年）は、少子・高齢化が進み37戸・102人で、人口は3分の1以下になってしま、高齢化率は52%に達しています。このような現状なかで、先祖から受け継いだ農地を守ろうと、集約化し担い手として農業に励む人、和牛の飼育・白ネギの生産に頑張る人もあります。

一方、郷里を離れて関西で暮らしている皆さんで「奥渡会」を結成し、遠くから故郷の安泰を祈り、見守っていただいています。

最後に「何十年経っても里山（奥渡）の風景が印象に残っている。将来へのメッセージとしたい」と地元の人が話していました。

（松本利秋Ⅱ政治・行政・教育小委員会）

職員が勝手に
ススめる1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも!?

読んでみたらんかな～



『であえてほんとうによかった』

宮西達也 作・絵 / ポプラ社

この絵本は、恐竜で嫌われもののティラノサウルスと泣き虫のスピノサウルスとの心温まる友情物語です。ティラノサウルスがスピノサウルスの子どもに初めて出会ったとき、食べてやろうとしていたのに「ありがとう」「やさしい」「かっこいい」などと言葉をかけられる度にティラノサウルスの心が変わっていきます。最後の結末にうるっときてしまいます。言葉の大切さ、感謝する気持ちの大切さ…と色々なことが感じられる1冊です。

この絵本に出会い、言葉の持つ力を教えられました。思っても言葉にするのが恥ずかしかったりもしますが、できるだけ言葉にして伝えていきたいと思えました。また、たくさんの方々との出会いを大切にしたいと思いました。

宮西達也さんの「ティラノサウルス」シリーズはまだまだあり、「愛情」「友情」などいろんなことが学べ、読むと心が温かくなります。子どもたちだけでなく、大人も様々なことが感じられると思いますので、ぜひ読んでみてください。



この本を紹介してくれたのは…

ひのっこ保育所 なごし まなみ 名越 愛 保育士

名越さんからひと言：

「今年度は、年中児のさくら組の担任をしています。子どもたちの目線でいろんなことを発見して教えてくれるところが楽しく、元気をもらっている毎日です。

ちなみに高校生までソフトテニスに励んでいました。まだまだ体力には自信があるつもりですが、子どもたちはマラソンをしたりよく動きます。私も子どもたちに負けないよう、保護者の方と共に子どもたちの成長を見守りながら、一年間楽しく過ごしたいです」



教育委員会からのお知らせ

5月2日に教育委員会および総合教育会議を開き、次の案件などについて報告・協議されました。

【教育委員会】

以下が提案され、承認されました。

▼学校評議員、地域コーディネーターおよび英語教室講師の委嘱について

(協議事項) 以下が提案され、承認されました。

▼学校等計画訪問について、日程および内容について決定されました。

▼平成29年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、個人情報保護の観点から、学校名は明示せず、小・中学校別の結果を広報紙で行うことについて決定されました。

(その他)

▼「日野町休日活動支援事業」「町史編さん委員会・小委

員会合同会議」などの内容について、報告がありました。

《次回の予定》

日時：6月7日(水) 午後1時30分 場所：役場会議室

※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。

【総合教育会議】

・第2次日野町教育大綱について

現行の「日野町教育大綱」に代わる、平成29年度から平成32年度までの町の教育方針である「第2次日野町教育大綱」が策定されました。

《基本理念》「まちを愛し、豊かな心に灯をともし生きがいのあるまちづくり」※内容については、広報ひの6月号に掲載予定です。